

<p>一般廃棄物焼却残渣における銀、パラジウムの 賦存量と回収方法の検討</p>	
<p>Abundance and Recovery of Silver and Palladium in Municipal Solid Waste Incineration Residue</p>	
<p>レアメタルは世界的に需要の伸びが著しく、供給リ スクの問題などから安定供給のため様々な取り組み があるが、なかでも廃棄物からの回収に着目すると 産業廃棄物に対して一般廃棄物に関する調査研究は 極めて乏しい。本研究では対象元素として選定した Ag、Pdの濃度を測定して賦存量を推定し、回収法と して溶媒抽出法を適用した。Agの濃度は焼却灰で平 均21ppm、焼却飛灰で56ppm、溶融飛灰で103ppmで あり全国で最終処分焼却残渣から年間116tが回収で できると推定され、これは再生銀生産の約半分にあた る。Pdは焼却灰で0.6ppm、焼却飛灰で0.8ppm、溶融 飛灰で0.6ppmであり年間2.8t回収できると推定され、 年国内需要量の5%であった。また4段階からなる溶 媒抽出法を溶融飛灰に適用したところ、Agの94%が 抽出された。特に酢酸アンモニウム溶液に71%のAg が分離され、効果的な抽出溶媒となることがわかっ た。</p>	
<p>濱岡真由</p>	<p>Mayu Hamaoka</p>
<p>レアメタル、銀、パラジウム、溶媒抽出、溶融飛 灰、焼却飛灰</p>	
<p>Rare Metal, Silver, Palladium, Solvent Extraction, Molten Fly Ash, Fly Ash</p>	